

東京北法律・九条の会・第36回企画のご案内

伝えよう、放射線の被害は外部被曝・内部被曝・そして生涯被曝蓄積合計の危険性

4本の活断層による大地震と津波で、東京まで50km・横須賀空母の原子炉2基の放射能被害はどうか。

全国で4番目の危険な活断層がどう動くのか。陸上の外部電源が失われたときはどうか。

先回の横須賀軍港視察ツアーに大勢のご参加をいただき、ありがとうございました。

この視察と現地での講演とで、横須賀に4本の活断層があり、学問上もそれらが全国的にも危険性の高い状態にあるといわれていることを知りました。これら活断層による大地震と大津波（とくに引き潮）で、寄港している原子力空母の2つの原子炉はどうか、大きな関心を持たざるを得ません。このため、先回の視察に続いてこの問題を深めるために、横須賀に法律事務所をもち、市民とともに原子力空母の寄港の存否を問う住民投票を成功させる会を立ち上げ、運動と裁判を行っている呉東正彦弁護士をお招きしてお話しをうかがうことにしました。全国にいま、「原発の存否を問う住民投票」を求める動きが広がりつつあります。ぜひ、ご参加ください。

次に、「東京に原発を誘致する」と言い張る知事の発言と行動とで、都庁内でパニックを引き起こし、カウントダウンの緊急事態に陥る状況に、今日の事態を重ね合わせ、見る者の背筋を寒くさせるエンターテインメント映画「東京原発」(DVD)を上映します。どうぞ、ご期待ください。

第36回企画・2011年10月7日(金)午後6時から

《無料》

場所・北法ビル3階会議室

(1) 午後6時から6時45分 講演

「空母母港化を含め、『原発』はその是非を住民がみんなで決める運動を広げよう」

弁護士 ^{ごとう} 呉東正彦さん(原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表)

質疑応答(約15分)

(2) 午後7時から8時50分

戦慄のパニック・エンターテインメント映画「東京原発」(DVD・2002年製作)

監督・脚本/山川元、主演/役所広司、他名優総出演



出席回答欄

参加を御希望の方は、出席する企画に○印をして、この用紙で9月30日までに、参加の旨をFAXして下さい(03-3907-2183)。

どちらか○印

① 新規

② 届出済み

御氏名 _____ (外 名) FAX 番号 _____

《一言お寄せ下さい》

東京北法律事務所・九条の会

東京都北区王子本町1丁目18番1号 北法ビル TEL 03-3907-2105 FAX 03-3907-2183